

クリエイター人材のフリーランス転向を防ぎたい制作会社が、待遇改善の一手として導入した事例

業種: 広告・デザイン制作会社

従業員 14名

選択制DC

導入1年目

実力のあるデザイナーやディレクターほど、独立してフリーランスになっていく。業界ではよくある話ですが、代表としては「給与だけでの引き止めにはもう限界がある」と感じていました。フリーランスにはない、法人ならではの価値を示したい——そんな思いから制度検討が始まりました。

BEFORE 導入前

- 実力のあるデザイナー・ディレクターほどフリーランスとして独立する傾向が強かった
- 会社に残るメリットを提示できておらず、給与だけでの引き止めには限界を感じていた



AFTER 導入後

- ✓ フリーランスにはない「法人ならではの福利厚生」として制度を訴求した
- ✓ 掛金設計をシンプルにし、若手クリエイターにも分かりやすく説明した
- ✓ 採用サイトのメッセージに「安心して創作に打ち込める環境」として明記した

導入後の効果(モデルケース試算)

14名中10名

制度加入者数

約2万円/月会社の法定福利費
軽減額(試算・全体)**1名**導入後に独立を
見送ったディレクター

「フリーになるより、今の環境で続ける理由」が一つ増えた、とスタッフから言われたときは正直ほっとしました。

(代表取締役)

「フリーになる理由」、消せていますか

法人ならではの制度で、クリエイターに残ってもらう理由を作れます。